

第1問 仕訳問題

- 手形の割引については、「受取手形」勘定を減少させ、割引料は「手形売却損」勘定で処理します。
- 売買を目的で買い入れた株式は、「売買目的有価証券」勘定で処理します。  
取得原価 @ ¥60 × 1,000株 + ¥1,000 = ¥61,000
- 約束手形を振り出して金銭を借り入れた場合、「手形借入金」勘定で処理します。「支払手形」勘定で解答しないように注意します。
- 旅費の概算額を手渡したときの処理は下記のとおりです。  
(借方) 仮払金 80,000 (貸方) 現金 など 80,000  
本問は精算した旅費 ¥67,000 (= ¥80,000 - ¥13,000) について「旅費交通費」勘定で処理します。また、残金はただちに当座預金に預け入れたので「当座預金」勘定の増加として処理します。
- 売却した土地は「土地」勘定を減少させ、売却代金 ¥550,000 と取得原価 ¥532,000 (= ¥520,000 + ¥12,000) の差額を固定資産売却損益として処理します。  
固定資産売却損益 ¥550,000 - ¥532,000 = ¥18,000 (売却益)

第2問 得意先元帳・売掛金明細表

1. 前月繰越

答案用紙の売掛金明細表より、京都商店の前月繰越は ¥200,000、神戸商店の前月繰越は ¥160,000 です。

2. 4月中の取引の仕訳

|     |              |         |              |         |
|-----|--------------|---------|--------------|---------|
| 2日  | (借方) 当座預金    | 260,000 | (貸方) 売掛金(京都) | 160,000 |
|     |              |         | (貸方) 売掛金(神戸) | 100,000 |
| 4日  | (借方) 現金      | 120,000 | (貸方) 売上      | 240,000 |
|     | (借方) 売掛金(京都) | 120,000 |              |         |
| 8日  | (借方) 売上      | 12,000  | (貸方) 売掛金(京都) | 12,000  |
| 11日 | (借方) 売掛金(神戸) | 100,000 | (貸方) 売上      | 100,000 |
| 16日 | (借方) 買掛金     | 80,000  | (貸方) 売掛金(神戸) | 80,000  |
| 18日 | (借方) 当座預金    | 200,000 | (貸方) 受取手形    | 200,000 |
| 22日 | (借方) 現金      | 50,000  | (貸方) 売上      | 120,000 |
|     | (借方) 売掛金(神戸) | 70,000  |              |         |
| 28日 | (借方) 現金      | 40,000  | (貸方) 売掛金(京都) | 40,000  |

3. 売掛金明細表

| 京 都 商 店 |         | 神 戸 商 店 |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 4 / 1   | 200,000 | 4 / 1   | 160,000 |
| 4       | 120,000 | 4 / 2   | 100,000 |
|         |         | 8       | 12,000  |
|         |         | 11      | 100,000 |
|         |         | 16      | 80,000  |
|         |         | 22      | 70,000  |
|         |         | 月末残高    | 150,000 |
|         |         |         | 330,000 |
|         | 320,000 |         | 330,000 |
|         |         |         | 330,000 |

4. 次月繰越

解説3. より、京都商店の次月繰越は ¥108,000、神戸商店の次月繰越は ¥150,000 となります。

上記解説1. 2. 4. より、得意先元帳(京都商店勘定)に記入し、上記解説3. より、売掛金明細表に記入します。

第3問 決算整理前合計試算表

答案用紙の各勘定の金額の算定方法は下記のとおりです。

1. 売買目的有価証券

資料(A) 到有価証券評価益勘定があるため、売買目的有価証券の評価替において、有価証券評価益が出ていることが分かるので、資料(A) の貸方に「有価証券評価益」が入ります。そして、借方は「売買目的有価証券」になります。

(借) (売買目的有価証券) 45,600 (貸) (有価証券評価益) 45,600

そして、売買目的有価証券勘定を作成すると下記のとおりです。

売買目的有価証券

|                    |             |         |
|--------------------|-------------|---------|
| 決算整理前合計試算表借方 ( )   | 次期繰越(繰越試算表) | 617,600 |
| (A) 有価証券評価益 45,600 |             |         |
| 617,600            |             | 617,600 |

よって、貸借差額により答案用紙の売買目的有価証券は¥572,000となります。

2. 繰越商品

資料(A) の1行目の仕訳は期首商品棚卸高を繰越商品勘定から売上原価勘定に振り替える仕訳です。この仕訳の金額¥125,000は繰越商品勘定の決算整理前残高に該当します。よって、答案用紙の決算整理前合計試算表の繰越商品勘定の借方合計は¥125,000となります(貸方合計がないため、借方合計が借方残高となります)。

3. 仕入

資料(A) の2行目の仕訳は1行目の仕訳が期首商品、3行目の仕訳が期末商品に関する仕訳なので、この仕訳は当期商品仕入高を仕入勘定から売上原価勘定に振り替える仕訳となります。

(借) (売上原価) 4,855,000 (貸) (仕入) 4,855,000

そして、仕入勘定を作成すると下記のとおりです。

仕 入

|                  |          |           |
|------------------|----------|-----------|
| 決算整理前合計試算表借方 ( ) | (A) 売上原価 | 4,855,000 |
|------------------|----------|-----------|

よって、貸借差額により答案用紙の仕入は¥4,855,000となります。

4. 備品減価償却累計額

繰越試算表に備品減価償却累計額勘定があるため、減価償却に関して間接法で記帳されていることが分かり、借方に「減価償却費」、貸方に「備品減価償却累計額」を記入します。

(借) (減価償却費) 270,000 (貸) (備品減価償却累計額) 270,000

そして、備品減価償却累計額勘定を作成すると下記のとおりです。

備品減価償却累計額

|                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 次期繰越(繰越試算表) 810,000 | 決算整理前合計試算表貸方 ( )  |
|                     | (A) 減価償却費 270,000 |
| 810,000             | 810,000           |

よって、貸借差額により答案用紙の備品減価償却累計額は¥540,000となります。

5. 貸倒引当金

貸倒引当金繰入勘定を作成すると下記のとおりです。

貸倒引当金繰入

|               |        |        |
|---------------|--------|--------|
| (A) 貸倒引当金 ( ) | (A) 損益 | 15,600 |
|---------------|--------|--------|

よって、貸借差額により、¥15,600となり、資料(A) の金額となります。

(借) 貸倒引当金繰入 ( 15,600) (貸) 貸倒引当金 ( 15,600)

そして、貸倒引当金勘定を作成すると下記のとおりです。

貸倒引当金

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 決算整理前合計試算表借方 5,000 | 決算整理前合計試算表貸方 ( )   |
| 次期繰越(繰越試算表) 25,600 | (A) 貸倒引当金繰入 15,600 |
| 30,600             | 30,600             |

よって、貸借差額により答案用紙の貸倒引当金は¥15,000となります。

6. 給料

給料勘定を作成すると下記のとおりです。

| 給 料              |  |
|------------------|--|
| 決算整理前合計試算表借方 ( ) | (A) 損 益 <span style="float: right;">618,000</span> |

よって、貸借差額により答案用紙の給料は¥618,000となります。

7. 支払家賃

支払家賃勘定を作成すると下記のとおりです。

| 支 払 家 賃          |  |
|------------------|--|
| 決算整理前合計試算表借方 ( ) | (A) 損 益 <span style="float: right;">428,000</span> |

よって、貸借差額により答案用紙の支払家賃は¥428,000となります。

8. 旅費交通費

旅費交通費勘定を作成すると下記のとおりです。

| 旅 費 交 通 費        |  |
|------------------|--|
| 決算整理前合計試算表借方 ( ) | (A) 損 益 <span style="float: right;">127,000</span> |

よって、貸借差額により答案用紙の旅費交通費は¥127,000となります。

9. 売上

売上勘定を作成すると下記のとおりです。

| 売 上  |                  |
|--|------------------|
| (A) 損 益 <span style="float: right;">6,652,000</span> | 決算整理前合計試算表貸方 ( ) |

よって、貸借差額により答案用紙の売上は¥6,652,000となります。

10. 資本金

上記解説 1. ~ 9. により答案用紙の資本金以外の空欄が埋まるので貸借差額で資本金 ¥3,250,000を求めます。

第4問 勘定記入

資料の仕訳を示すと下記のとおりです。

1. 1月1日(期首再振替仕訳)

(借) 受 取 家 賃 70,000 (貸) 未 収 家 賃 70,000

2. 1月4日(家賃の受取り)

(借) 現 金 420,000 (貸) 受 取 家 賃 420,000

3. 6月1日(家賃の受取り)

(借) 当 座 預 金 720,000 (貸) 受 取 家 賃 720,000

4. 12月31日(決算日)

決算整理仕訳(6月1日受取分の受取家賃の繰延)

(借) 受 取 家 賃 300,000 (貸) 前 受 家 賃 300,000

前受家賃  $¥720,000 \times \frac{5 \text{ 力月}}{12 \text{ 力月}} = ¥300,000$  平成20年1月1日~5月31日

決算振替仕訳(収益の諸勘定の締め切り)

(借) 受 取 家 賃 770,000 (貸) 損 益 770,000

上記の仕訳を受取家賃勘定に転記し、帳簿を締め切ります。

第5問 精算表(推定)

未記帳事項を先に仕訳をしてから、決算整理仕訳を推定して修正記入欄の記入を行うとともに、判明した勘定科目について残高試算表欄、損益計算書欄および貸借対照表欄の記入もあわせて行うと解答作成時間を短縮することができます。

・未記帳事項の仕訳

1. 現金過不足の整理

|           |       |           |       |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (借) 現金過不足 | 3,000 | (貸) 受取手数料 | 2,000 |
|           |       | (貸) 雑益    | 1,000 |

・決算整理仕訳の推定

1. 貸倒引当金繰入、貸倒引当金 貸倒引当金の修正記入欄貸方 ¥9,000より、

|             |       |           |       |
|-------------|-------|-----------|-------|
| (借) 貸倒引当金繰入 | 9,000 | (貸) 貸倒引当金 | 9,000 |
|-------------|-------|-----------|-------|

貸倒引当金繰入 修正記入欄借方および損益計算書欄借方に ¥9,000 を記入します。  
貸倒引当金 貸借対照表欄貸方に ¥11,000 (= ¥2,000 + ¥9,000) を記入します。

2. 前払保険料、支払保険料 支払保険料の修正記入欄貸方 ¥1,000より、

|           |       |           |       |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (借) 前払保険料 | 1,000 | (貸) 支払保険料 | 1,000 |
|-----------|-------|-----------|-------|

前払保険料 修正記入欄借方および貸借対照表欄借方に ¥1,000 を記入します。  
支払保険料 残高試算表欄借方に ¥28,000 (= ¥27,000 + ¥1,000) を記入します。

支払保険料の残高試算表欄 ¥28,000 を埋めた後、残高試算表欄借方合計 ¥4,250,000 と売買目的有価証券を除く借方合計 ¥4,128,000 との差額により、売買目的有価証券の残高試算表欄借方 ¥122,000 を計算します。

3. 有価証券評価益、売買目的有価証券 売買目的有価証券の修正記入欄借方 ¥21,000より、

|              |        |             |        |
|--------------|--------|-------------|--------|
| (借) 売買目的有価証券 | 21,000 | (貸) 有価証券評価益 | 21,000 |
|--------------|--------|-------------|--------|

有価証券評価益 修正記入欄および損益計算書欄貸方に ¥21,000 を記入します。  
売買目的有価証券 残高試算表欄借方に ¥122,000 を記入し、貸借対照表欄借方に ¥143,000 (= ¥122,000 + ¥21,000) を記入します。

4. 仕入、繰越商品 繰越商品の残高試算表欄借方 ¥163,000、仕入の残高試算表欄借方 ¥1,350,000、損益計算書欄借方 ¥1,401,000より、

|            |                     |                    |           |
|------------|---------------------|--------------------|-----------|
|            | 仕 入                 |                    |           |
| 残高試算表欄借方より | 当期仕入高<br>¥1,350,000 | 期末 ¥ 112,000       | 貸借差額により計算 |
| 残高試算表欄借方より | 期首 ¥ 163,000        | 売上原価<br>¥1,401,000 |           |

|          |         |          |         |
|----------|---------|----------|---------|
| (借) 仕入   | 163,000 | (貸) 繰越商品 | 163,000 |
| (借) 繰越商品 | 112,000 | (貸) 仕入   | 112,000 |

仕入 修正記入欄借方に ¥163,000 を記入し、貸方に ¥112,000 (= ¥1,350,000 + ¥163,000 - ¥1,401,000) を記入します。  
繰越商品 修正記入欄借方および貸借対照表欄借方に ¥112,000 を記入し、修正記入欄貸方に ¥163,000 を記入します。

5. 前受手数料、受取手数料 前受手数料の修正記入欄貸方 ¥4,000より

|           |       |           |       |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (借) 受取手数料 | 4,000 | (貸) 前受手数料 | 4,000 |
|-----------|-------|-----------|-------|

受取手数料 修正記入欄借方に ¥4,000 を記入し、残高試算表欄貸方に ¥18,000 (= ¥16,000 + ¥4,000 - ¥2,000) を記入します。

受取手数料の残高試算表欄 ¥18,000 を埋めた後、残高試算表欄貸方合計 ¥4,250,000 と建物減価償却累計額を除く貸方合計 ¥4,160,000 との差額により、建物減価償却累計額の残高試算表欄貸方 ¥90,000 を計算します。

6. 減価償却費、建物減価償却累計額、備品減価償却累計額 減価償却費の修正記入欄借方 ¥67,500、備品減価償却累計額の修正記入欄貸方 ¥22,500より、

|               |        |               |        |
|---------------|--------|---------------|--------|
| (借) 減 価 償 却 費 | 67,500 | (貸) 建物減価償却累計額 | 45,000 |
|               |        | (貸) 備品減価償却累計額 | 22,500 |

建物減価償却累計額 修正記入欄貸方に ¥45,000 (= ¥67,500 - ¥22,500) を記入し、貸借対照表欄貸方に ¥135,000 (= ¥90,000 + ¥45,000) を記入します。

7. 未収利息、受取利息 未収利息の貸借対照表欄借方 ¥3,000より

|             |       |             |       |
|-------------|-------|-------------|-------|
| (借) 未 収 利 息 | 3,000 | (貸) 受 取 利 息 | 3,000 |
|-------------|-------|-------------|-------|

未 収 利 息 修正記入欄借方に ¥3,000 を記入します。

受 取 利 息 修正記入欄貸方に ¥3,000 を記入し、損益計算書欄貸方に ¥4,000 (= ¥1,000 + ¥3,000) を記入します。

8. 未払販売費、販売費 販売費の残高試算表欄借方 ¥214,000、損益計算書欄借方 ¥220,500より、

|           |       |               |       |
|-----------|-------|---------------|-------|
| (借) 販 売 費 | 6,500 | (貸) 未 払 販 売 費 | 6,500 |
|-----------|-------|---------------|-------|

販 売 費 修正記入欄借方に ¥6,500 (= ¥220,500 - ¥214,000) を記入します。

未 払 販 売 費 修正記入欄貸方および貸借対照表欄貸方に ¥6,500 を記入します。

9. 未払利息、支払利息 未払利息の修正記入欄貸方 ¥2,000より、

|             |       |             |       |
|-------------|-------|-------------|-------|
| (借) 支 払 利 息 | 2,000 | (貸) 未 払 利 息 | 2,000 |
|-------------|-------|-------------|-------|

支 払 利 息 修正記入欄借方に ¥2,000 を記入し、損益計算書欄借方に ¥8,000

(= ¥6,000 + ¥2,000) を記入します。

10. ここまでの記入が終わったら修正記入欄の合計を計算し、一致することを確認します。

11. 損益計算書欄より当期純利益 ¥183,000 を算出し、その金額を損益計算書欄と貸借対照表欄に記入します。

最後に各欄の合計額を計算し、一致することを確認してそれらの金額を記入します。